

令和 7 年度 革新的技術実証事業評価委員会の結果について

令和 7 年度予算にかかる新規採択技術について評価結果を示す。

●令和 7 年度予算採択技術（実規模実証新規採択）

○中山間部における分散型水循環システムの実証研究（ゼオライト㈱、一般財団法人造水促進センター、国立大学法人信州大学、日本水工設計㈱、長野県喬木村共同研究体）

提案された技術について、ランニングコストの低減及び維持管理が容易となるシステム、また分散型水循環システムが最適となる規模及び配置の整理を目指して研究を実施していただきたい。なお、年間を通じた様々な状況において水道法の定める水質基準を満たした安全な水の供給にも留意すること。

○小規模水道におけるハイブリッド小型緩速ろ過システムの実証事業（株式会社 NJS、天草市、中川村共同研究体）

提案された技術について、省電力・低コスト運転及び維持管理が容易なシステムの構築を目指して研究を実施していただきたい。なお、様々な水需要に対応する供給水量の実現、人の飲用に適する水として、年間を通じた様々な状況において水道法の定める水質基準を満たした安全な水の供給にも留意すること。